令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	
1(7番) 坂口 勝彦	1 災害発生時における避難所等の通信確保について	(1) 本市は、公共安全モバイルシステムをどのように認識しているか。
		(2) 「スターリンク」を活用した避難所等の通信確保の整備を検討すべきでは。見解を伺う。
2(14番) 八尋 一男	1 農業問題について	(1) 農業経営基盤強化促進法に基づき本市の地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の進捗について伺う。
		(2) 高齢化かつ後継者がいなく、耕作賃が払えない、耕作賃を出しても借り手不在の状況を認識しているか。
		(3) 借り手がない要因の一つに鳥獣被害がある。従来通りの駆除班任せ、電気柵補助等だけでなく新規対策は。
		(4) 山間部の方は、狩猟免許は持たないがくくりわな、箱わなを自宅敷地内に設置希望だが問題はないか。
		(5) 移住者の促進や農業に興味がある都会の方に斡旋する制度を考えてはどうか。
2 水泳事業の民間委託について	(1) 16の小中学校で水道代など年間維持費はいくらか、老朽化による改修費用の見込み額はいくらか伺う。	
	(2) 専門のインストラクターに任せることで技量向上につながり、かつ教員の負担軽減につながるが市の見解は。	
	(3) 市民の屋内プールの要望は高いが、仮に屋内プールを建設した場合の維持費は調査しているか。	
	(4) 自前のプールはあったに越したことはないが、人口減少を考えると広域連携も必要では、見解を伺う。	
3(10番) 段下 季一郎	1 子育て支援について	(1) 夜間訪問型の産後ケア事業を実施すべきと考えるが市の見解は。
	2 福祉施策の充実について	(1) 福祉施策の充実のための社会福祉士(ソーシャルワーカー)増員について市の見解は。
4(6番) 檜木 孝一	1 農業振興について	(1) 農業振興地域整備計画の改定方針を問う。
	2 地域コミュニティの推進について	(1) コミュニティ基本計画の推進にあたって、公助の一環として、人が集う小さな拠点づくりへの支援を行うべき。
		(2) 外国人の方が地域で活躍できるよう、市は相互理解の取組みを促進すべきでは。
3 脱炭素化に向けて	(1) 住宅用エコエネルギー導入促進事業補助金の対象をZEH、HEMS及びV2H充放電設備にも拡大すべきでは。	
5(2番) 古賀 新悟	1 デジタル化の推進について	(1) デジタル化は働く人を助けるべきものであって、負担が増大しないようにすべきと考えるが、本市の現状は。
		(2) 本市は、職員増員を行ったが、今後のデジタル化の推進が安易な人員削減にならないか。
		(3) システムのトラブルやAIが行った判断の検証などに対応する人員の確保が必要と考えるが、本市の見解は。
	2 避難所の生活環境改善について	(1) スフィア基準に沿った避難所等の開設・運営を地域防災計画の中に位置付けるべきと思うが本市の見解は。
		(2) 学校をはじめ、各公共施設に、計画的かつ大量に避難所用テントを備蓄すべきと思うが本市の見解は。
		(3) 本市でもトイレトレーラーやキッチンカーなどの備品を購入してはどうか。
6(1番) 佐々木 忠孝	1 グラウンドゴルフ用具置き場の設置について	(1) スポーツ振興および高齢者の健康増進の観点から、市が管理する公園等に用具置き場を設置すべきではないか。 ・グラウンドゴルフについては競技人口の高齢化に伴い、道具の運搬が困難になっている状況が発生し、存続が危ぶまれる団体も発生しているため、スポーツ振興および高齢者の健康増進の観点から、用具置き場をするべきではないか。
7(9番) 吉村 陽一	1 高齢者福祉に係る外国人介護人材受入れについて	(1) 外国人介護人材受け入れに係るプラットフォームセミナーの開催を検討しては。
		(2) 特定技能外国人採用を支援するマッチング等を含む事業を行ってはどうか。
		(3) 介護に関わる外国人と地域住民との交流イベント等も含めた外国人介護人材受入れを支援する事業を検討しては。

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目					
8(12番) 前田 倫宏	1 認知症施策の推進について	(1) 認知症カフェの普及促進に関し、今後どのように考えているのか。また、開設・運営費補助金の考えは。 (2) 認知症の方が地域で暮らし続けていくためにも、認知症バリアフリーの推進が重要だが、今後の取り組みは。 (3) 今後の認知症の人の見守り・行方不明対策をどのように考えているのか。また、捜索を想定した演習の考えは。				
	2 子育て支援施設について	(1) 子育て支援センターは、住環境が悪く、居住空間も狭いため、施設の新設・移設を検討すべきでは。 (2) 二日市以外のコミュニティセンターにおける「子どもの居場所づくり」に関し、どのように考えているのか。 (3) 子育て支援拠点における多機能化支援（児童館・ファミサポ・利用者支援・一時預かり事業等）の考えは。				
9(3番) 春口 茜	1 公共施設再編と複合施設整備の必要性について	(1) 文化会館・農トレ・生涯学習センターは予防保全だけではなく複合化を視野に入れるべきでは。 (2) スポーツ・文化と福祉を融合した複合施設整備を求める署名への市の対応は。 (3) 交付金及びPPP/PFIを活用する組織を設置し公共施設の財政負担軽減策を計画すべきでは。 (4) 全市民がアクセスしやすい立地の確保と交通連携をしては。				
		10(16番) 宮崎 吉弘	1 認知症予防について	(1) 2012年、65歳以上認知症患者数462万人、本年約700万人の見込みである。本市の現状と見込みは。 (2) 認知症に関する正しい知識と理解促進は筑紫野市としてどのように進められているのか。伺います。 (3) 本市の認知症予防に資する可能性がある対策の推進状況を伺います。 (4) 認知症予防に関するエビデンス（根拠、証拠）を収集し推進していくのか。伺います。 (5) 認知症予防対策の一つにシニアeスポーツを導入、効果を上げる自治体がある、まずは調査検討をしては。		
				11(17番) 西村 和子	1 第二次筑紫野市地域コミュニティ基本構想・第三次基本計画について	(1) 構想も計画もコミュニティと協働で作りに上げるべきですが、市が策定している理由をお尋ねします。 (2) 市とコミュニティとの対等な関係、コミュニティと自治会の関係をお尋ねします。 (3) コミュニティ運営協議会が、コミセンの役割を担うほうが、コミュニティの自立となると考えますが、見解は。 (4) トップリーダー研修が必要ではないかと考えますが、見解をお尋ねします。 (5) 地域コミュニティの人材発掘、育成は、主催講座だけではなく、別の方法を考えるべきではないでしょうか。
						12(18番) 辻本 美恵子
2 健康になれる「まち」づくりについて	(1) 「自然に健康になれる環境づくり」について、どのように認識しているか。 (2) 筑紫野市において「自然に健康になれる環境づくり」の具体的な事例はあるか。 (3) 健康長寿「社会」づくりには、健康な「人」づくりと、健康な「まち」づくりが必要ではないか。 (4) 健康な「人」づくりにおいて、地域と高齢者、中高年の関わりをどのように進めているか。					

令和7年第2回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	
13(15番) 田中 允	1 デマンドバス・の るーとについて	(1) 1月27日から運行開始されたがスムーズにスタートできたのか。
		(2) 早々に風雪などあったが、積雪によるトラブル等なかったのか。
		(3) 今後の課題等は何か。
		(4) デマンドバスの初期投資と運行管理費は幾らか。
	2 市役所周辺の交通環 境の整備について	(1) 正門入り口の信号機には、車両用の信号機がない。対策を講じ市民の 利便性を図るべきでは。
		(2) 市役所西側のJR踏切に接する道路が変則になっているため、道路に並 行している水路に蓋掛をするべきでは。
	3 旧市役所跡地やジャ スコ跡地等市所有の 土地利用について	(1) 旧市役所跡地に建設予定のコミセンを民活でホテルやマンション等と 一体化しては。
		(2) ジャスコ跡地を福岡大名ガーデンシティのように民間事業者による開 発で推進しては如何か。
	4 JT跡地について	(1) JT跡地とイオンモールを結ぶ上古賀・立明寺地区等を一体とした地区 計画ができないものか。